



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

原子力安全協定を大幅に見直して、本市も締結を

鈴木やす子議員の一般質問から

2011年 第3回
定例9月議会

9月7日におこなわれた市議会本会議での鈴木やす子議員の質問の要約を紹介します。

子どもたち世代への責任を痛感

〔鈴木やす子議員〕先日、東海村にある展示館「アトムワールド」を訪ねた。原発事故から半年が

過ぎようというのに、いまだに原発の安全神話を吹聴する展示がそのままであった。

たまたまその日、ホールポディカウンターによる検査を受けるために、福島県葛尾村の子どもた

ちが避難所からバスで来ていた。展示と現実との対比に、私たち大人世代の責任を痛感した。

東海で事故なら本市も大被害

〔鈴木やす子議員〕東電の福島第一原発では地震と津波によって全電源が損失し、冷却不能となっ

て、過酷事故に至った。じつは茨城県の東海第二原発においても、これと同じ大事故が起りかけ

ていたことが明らかになっている。現在は点検のために停止しているが、この再稼働に対して市長はどう考えるか。

放射能に安全なしきい値はない

〔鈴木議員〕放射線被曝は低線量であっても健康に悪影響をもたらす。いわゆる「しきい値」はないというのが定説とされている。市内の放射性物質についても測定と除染を求めたい。測定器の貸し出しについては、すみやかに実現されるよう強く要望する。購入を予定している放射線量測定器の性能、使用方法は。

〔渡辺栄司環境産業部長〕測定器は、水・土壌・肉・野菜・魚介類などの放射能が約10分で測定できる機能を持っている。

〔鈴木議員〕市民にも広く公開されることを望む。放射性物質の除染対象と、そのしきいの基準は。

〔柏豊嬉総務部長〕学校・保育園等の除染は、毎時0.19μシーベルトを基準とし、五浦第二公園については0.28μシーベルトを基準とする。

〔鈴木議員〕稲作についての放射能測定のスケジュールはどうか。

〔環境産業部長〕米の検査は、収穫前の予備調査として9月5日に市内3ヶ所、本調査は9月20日に市内7ヶ所から収穫された玄米で検査をし、早ければ22、23日に公表される。

〔鈴木議員〕WC Sや稲わらについては、今後予定されることだが、早い時期の検査・公表を求めたい。

※ 市内の米の予備調査は、9月14日、放射性セシウムは「検出せず」。

〔鈴木議員〕東電からの賠償の状況は。

〔環境産業部長〕農協や漁協、商工会が中心となり請求をしているが、現在仮払いが少なざれた段階である。中小企業や観光業については風評被害なども対象となる。団体に所属しない方などについては、市が指導、援助する。10月上旬に東電担当者による説明会を予定している。

賠償請求への市の支援を

〔鈴木議員〕放射能汚染についての窓口の設置は。

〔鈴木元市長公室長〕これまで総務課が市の窓口となってきたが、環境問題として市民生活の全般にわたることから、8月30日、「放射能対策に関する調整会議」を設置した。これを核に、情報の共有、基本方針の検討、各課の業務分担を明確化していく。

